

一橋徳川家記念室 武具・刀剣 出陳資料一覧

【鎌倉時代】

刃を下に向けて腰に佩(は)く太刀が主流です。山城国(京都府)の国行, 備前国(岡山県)の長船派(光忠, 長光)と一文字派(「一」)の作例です。

No.	分類	資料名
1	太刀	銘「国行」
2	小太刀	銘「一」
3	太刀	銘「一」
4	小太刀	銘「長光」
5	太刀	銘「光忠」

【室町時代】

南北朝～室町時代初期には, 身幅の広い, とくに根元が広い(踏ん張りのある)ものが登場します。ここでは山城国の信国の作例を紹介します。

No.	分類	資料名
6	小太刀	銘「信国」

【江戸時代】

江戸時代になると, まさに全国各地で刀工が活躍します。そして, 江戸に出て全国的に知名度を増す者もいます。加賀国(石川県)の帟徹, 薩摩国(鹿児島県)の正清, 出羽国(山形県)の直胤の作例を紹介します。

No.	分類	資料名
7	脇指	銘「帟徹」
8	刀	銘「正清」
9	脇指	銘「直胤」

【鎌倉～南北朝時代(太刀)→江戸時代(刀)】

中世までは太刀として扱われたものが, 江戸時代になると所有者の用途などによって刀として使われる場合があります。この貞宗はその例です。

No.	分類	資料名
10	刀	無銘「鞆書貞宗」

【江戸時代】

一橋徳川家の武具・刀剣の特徴のひとつとして, 装飾性の高い誂え物があげられます。これらは, 新しい当主を迎えられた際に将軍家から下される場合が多いようであり, 所謂「名刀」をさらに美しく引き立て, その新しい門出を祝いました。

No.	分類	資料名
11	拵	樋蒔絵衛府太刀拵
12	拵	黒漆金銀蛭巻半太刀刀拵
13	文書	天保8年 紫糸威童具足納品目録
14	甲冑	紫糸威童具足
15	帯・紐	鉢巻, 勝帯, 紐
16	刀袋	刀袋 2点
17	刀掛	金縁黒漆塗葵紋散刀掛
18	刀掛	金縁黒漆塗葵紋刀掛
19	刀掛	金梨子地葵紋散刀掛

【現代】

No.	分類	資料名
20	甲冑	複製 紫系威童具足